



## 機械を使つて金属製品を加工する技術者

・サンニサン(階上町)④

非鉄金属加工の高度な技術力を駆使し、多種多様な「一品モノ」を作り上げてきた。自治体からの発注も多く、旧倉石村祭場の鏡面モニュメントなどを手掛けた。

サンニサンの創業者で、営業・窓口担当の佐藤洋子さんは「飲食料品を扱うプラントは異物や雑菌の混入があつてはならない。修理にこそノウハウが必要で、金属をしつかりと溶接する」寧な仕事を心掛けている」と強調する。

加工、製造は受注した製品の図面確認から始まる。顧客と相談を重ねな

住宅の門柱、工場のプラント、運動場や球場の手すり、ホテルの装飾、道の駅のモニュメント

# 部品からの一貫生産強み

がら、実際に取り付ける  
現場を下見し、より良い  
製造方法を提案。素材の  
材質選びでもアドバイス  
する。

レーザー加工機やアレス加工機といった機械設備を使用して、金属板を切断したり、折り曲げたりするなどし、さまざまな部品を製作。それらを技術者が手作業の溶接でつなぎ合わせ、製品を仕上げていく。一貫生産が金属加工のエキスパートとしての強みだ。



非鉄金属加工を手掛けるサンニサンの本社工場

サンニサンが製作した金属製品(同社提供)

「東北地方の太平洋沿岸に甚大な津波被害をもたらした東日本大震災後は、岩手県内で復旧工事に携わった。同社が製作し、八戸市河原木地区の馬淵川に設置されたステンレス製「フラップゲート（水門）」は津波の猛威に耐え、被害の抑制に一定の役割を果たした。近年は台風や豪雨とい

この自然災害に備え、全国の自治体では給水車の配備を進めている。同社は給水タンクに付属する金属パーツを製作した実績があり、全国各地から同様の発注が増えているという。

へ継承し、さらなる飞跃  
アップと事業拡大を見  
据える。新たな取り組み  
として、ベトナムからの  
外国人技能実習生も受け  
入れる予定だ。